

挨拶

本日ここに鹿児島大学南太平洋海域研究センター主催の総合シンポジウム「果樹—亜熱帯と温帯の接点」が開催されるに当たり、当大学を代表して一言ご挨拶申し上げます。

鹿児島大学は、南方への門戸である鹿児島の特性を生かし、大学の中心テーマとして南方総合科学を掲げ、永年に亘りその成果を挙げてきました。このテーマに関しては、鹿児島大学全体の強力なバックアップを受けた南太平洋海域研究センターが、全国の優れた専門家のご指導ご支援の許に、発展を遂げて来た訳で、本日その成果を纏めるシンポジウムが全国から一流の専門家をお招きして本学で開催出来る事は本学の大きな誇りであります。ここに本学を代表して、参加された皆様に心からなる歓迎と感謝の意を表したいと思います。

このシンポジウムのテーマは果樹と云うことですが、このテーマは広い南方全域に於ける自然と人間との大きな接点であり、その意味では南方総合科学にとって極めて重要なものであります。どうかこのシンポジウムを機会に南太平洋の総合研究が一段と進み、広い地域の住民全体に、その大きな成果が直接、間接に還元されることを祈って止みません。

以上本日のシンポジウムの成功を祈って私の挨拶の辞とさせていただきます。

平成元年10月20日

鹿児島大学学長 井形昭弘